

第12回 静岡県高齢者福祉研究大会

デイサービスの業務改善 ～インカム活用して～

社会福祉法人 デンマーク牧場福祉会
ディアコニア・デイサービス
生活相談員 足立 めぐみ

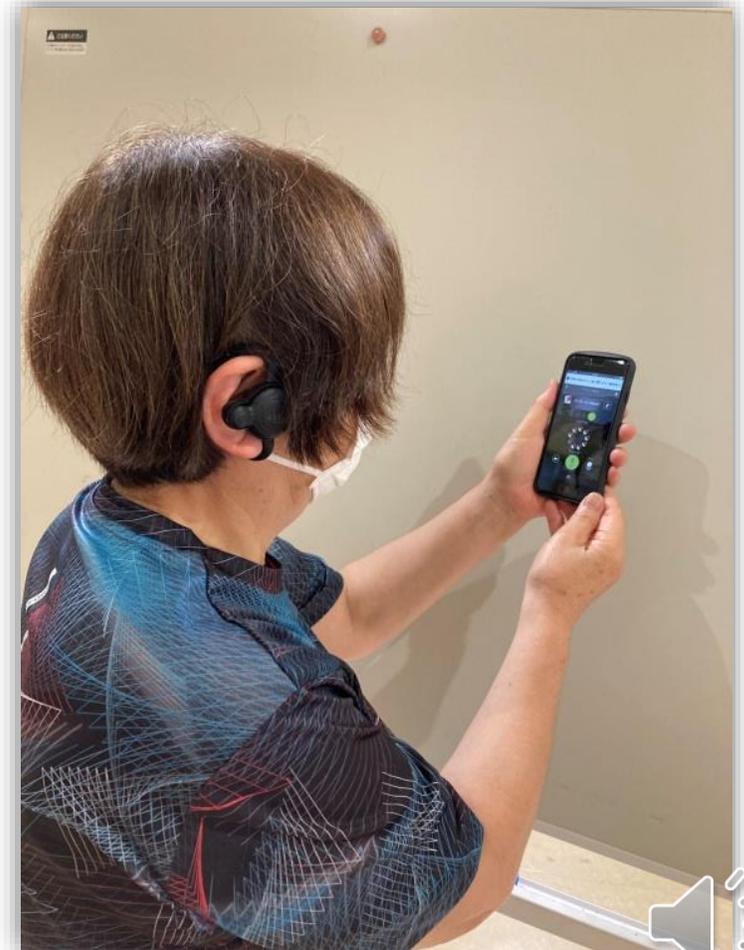


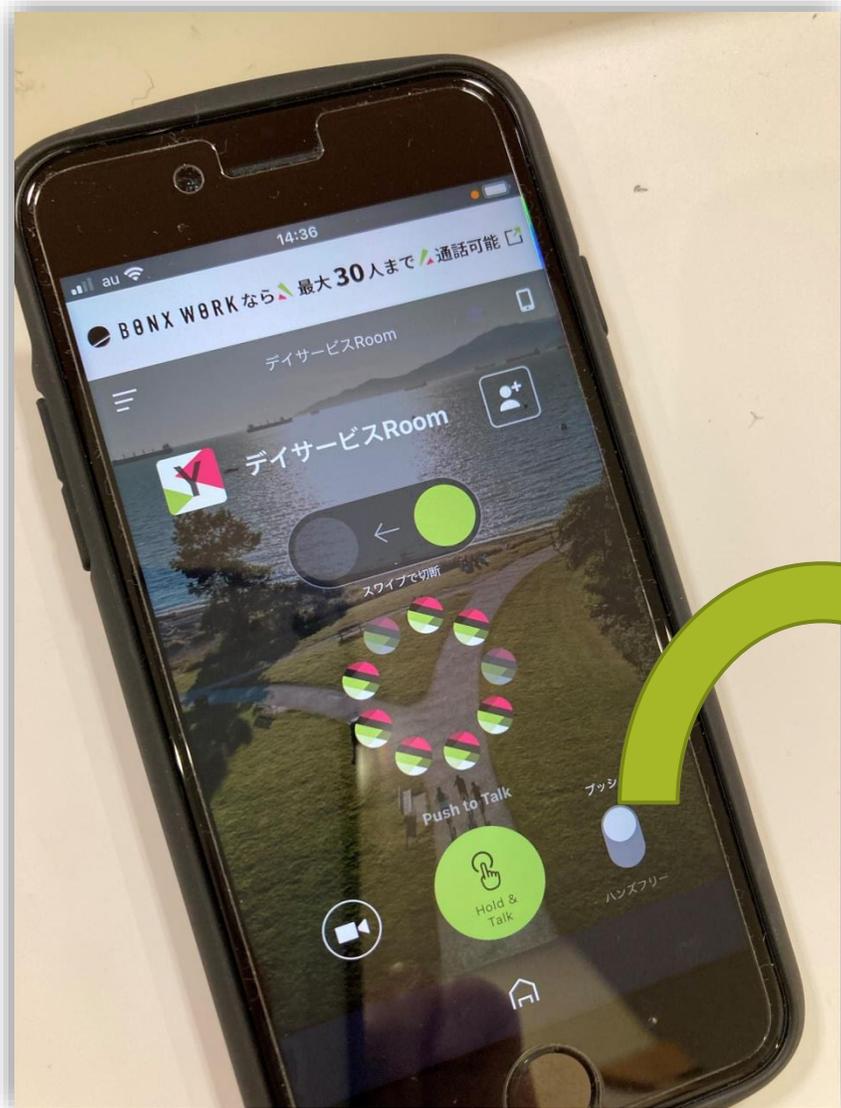
インカム導入のきっかけ

携帯電話の老朽化からスマートフォンへ機種変更を考えた際に、同時にインカムの導入を行っていったらどうかという話があり、現在に至っています。

私たちの使用したインカムは
片耳に装着するbluetoothイヤフォンとスマートフォン
アプリを組み合わせで使用します。

同時に10人までの通話が可能です





通話はプッシュ
かハンズフリー
どちらかを選ぶ
ことができます。
通常はプッシュ
モードで対応を
しています。

プッシュ



ハンズフリー

話をする時にはこの
部分を押していると
会話が可能になりま
す。



受話音量の調整がで
きます。



使用時の注意点

※イヤフォンとスマートフォンアプリとで連動しているため、そばにスマートフォンを置いておくこと。

※イヤフォンとスマートフォンの充電を行っておくこと。



インカムの運用による改善点

①

送迎時の連絡

②

施設到着時の利用者の受け入れ

③

入浴介助職員とフロアー職員間の連携

④

認知症の方の対応時



1

送迎時

出発時にインカムが繋がっていることを確認するために
「キャラバン出発します。」 「バネット出発します。」と車種名を
伝えてから発車しています。

（例1）連絡時「〇〇さん今日お休みです。」→「了解しました。」

（例2）トラブル時「〇〇さん玄関が閉まっているのですが、どうすれば
いいですか。」→「東側の窓が開いていることが多いので、そちらから声
をかけてみてください。」等

（例3）2便になる際「私が〇〇さんの迎えに行きますね。」

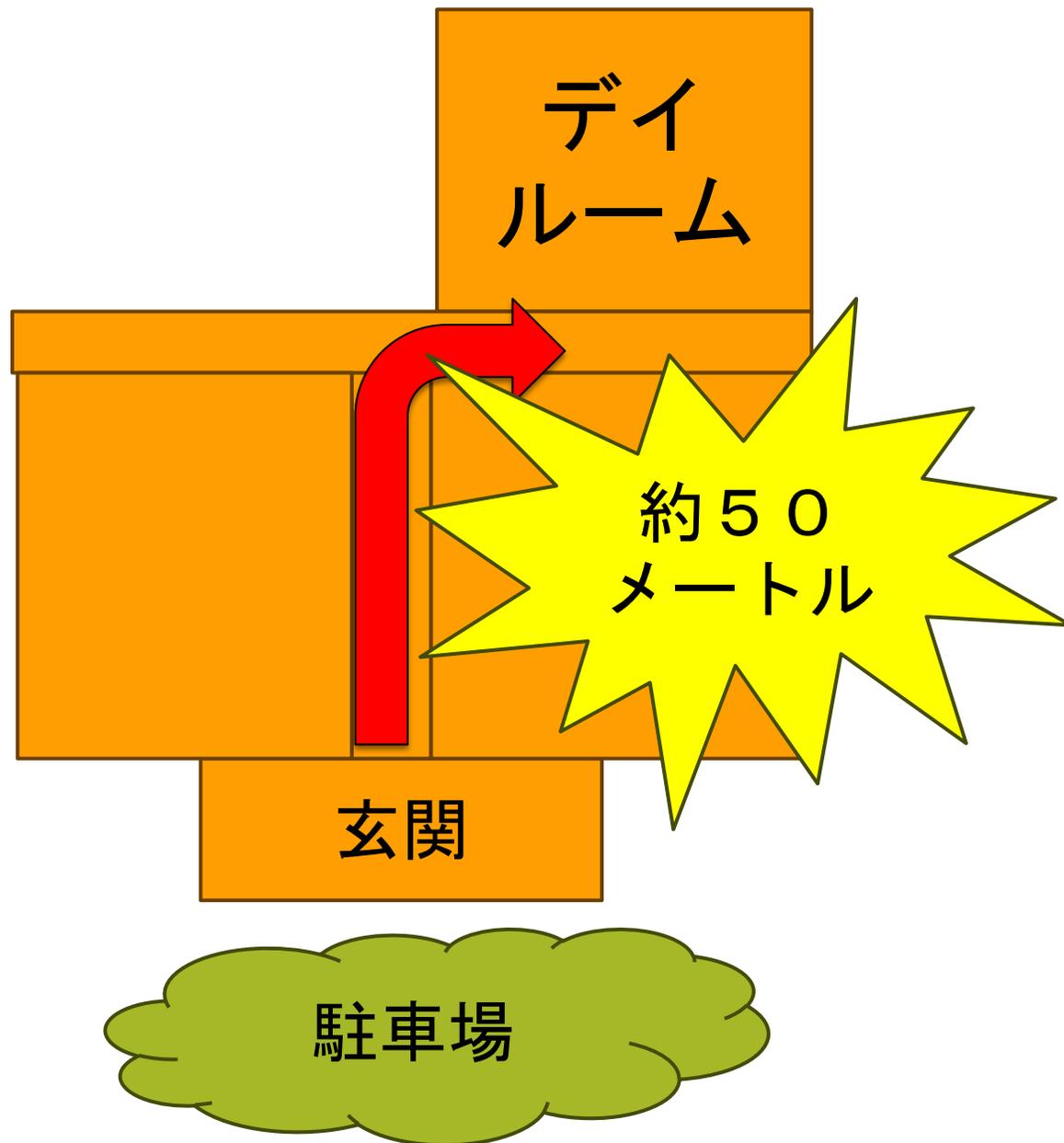


2

施設到着時

「キャラバン到着しました。」
「歩行器 2 台車いす 1 台お願いします。」
と具体的にアナウンスを入れることで施設に
いる職員に車の到着を伝えることができます。





ディアコニア・デイサービスは、特別養護老人ホームとの併設型のため玄関からデイルームまでが約50メートル近く離れています。車がいつ到着したかをインカムでの連絡により、とてもスムーズに利用者様を迎えることができるようになりました。

3

入浴介助職員とフロアー職員間の連携

(例 1) 入浴介助職員「〇〇さん入浴の番になるので誘導をお願いできますか。」

(例 2) フロアー職員「今〇〇さんお手洗いに行かれたのですが、入浴の順番はそろそろですか。」

(例 3) 入浴介助職員「〇〇さんお風呂から上がりました。」



4

認知症の方の対応時

対応職員 「〇〇さん玄関から出て行かれたので見守りしています。」

「〇〇さんと少し散歩をしてきます。」



現場の職員の感想

インカムを使い始めて、送迎で困った時にすぐに連絡を取ることができています。

施設に到着した時に連絡が入るので、とてもわかりやすくなりました。

送迎の時は本当に役立っています。

職員が送迎に行った後、連絡があった際便利でした。



まとめ

- ・ インカムの使用は職員同士の連絡方法として有効
- ・ インカムのその場、その時の連絡、相談だけに頼らず、基本的な情報共有は行うことをおろそかにしないことが原則
- ・ 現在では、同法人の他事業所においてもインカムを導入するようになり、円滑に業務を行えるようになっていきます。

ご清聴ありがとうございました。

